

No. 87 >>> Contents

●一般財団法人大日本蚕糸会から	
新たな蚕糸業対策（令和8年度～12年度）の基本的考え方について	
.....一般財団法人大日本蚕糸会	1
●「カイコを育てよう！2025」に取り組んで	
ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー	
.....「カイコを育てよう！2025」実行委員会	5
●トピックス	
厳かな「生糸繰糸始式」と蚕糸業の振興	
.....碓氷製糸株式会社 代表取締役社長 安藤俊幸	6
純国産絹糸を知る.....女子美術大学 教授 大崎綾子	8
アップサイクルした「煮繭水」による商品化への挑戦	
.....碓氷製糸株式会社 常務取締役 土屋真志	10
令和7年度持続的養蚕業確立事業の取組について	
.....一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸絹業振興部	12
●研究・技術情報	
国産シルクを活用した絹-PE交織織物の研究開発	
.....福島県ハイテクプラザ 材料技術部 繊維・高分子科 東瀬 慎	14
桑剪定枝バイオ炭づくりの試み	
.....一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 赤井雅志	17
●イベント情報	20
●一般財団法人大日本蚕糸会から	
2025年度第2次分の純国産絹マーク使用許諾状況	25
純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧	29
活動日誌	37
●蚕糸絹関係博物館一覧	38
●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧	41
●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）	44

新たな蚕糸業対策（令和8年度～12年度）の基本的考え方について

大日本蚕糸会では、昨年10月以降、次期中期事業計画の検討を進めています。本年3月には次期中期事業計画の骨子を策定し、シルクレポート No.85 でご紹介しました。この骨子に沿って支援事業等の具体化を進めており、来年度以降の事業の円滑な推進を図るため、7月に支援事業等を中心とした新たな蚕糸業対策の基本的考え方等についてとりまとめ、養蚕農家、製糸会社、提携グループ関係者、県協議会等関係者、関係県・市等にご説明しました。説明会で使用した資料を下記に掲載します。

今後、説明会で頂いたご意見も踏まえ、来年度からの事業実施に間に合うように準備を進め、大日本蚕糸会の業務全般の見直しを含め最終的には理事会に諮ったうえで中期事業計画としてとりまとめることとしています。

記

新たな蚕糸業対策（令和8年度～12年度）の基本的な考え方

2025年7月

2024年の養蚕農家数は134戸、繭生産量は38トンとなり、現在も養蚕農家数、繭生産量の減少に歯止めがかからない状況となっている。また、繭の生産量の約3/4が70歳以上の養蚕農家によって担われており、その養蚕農家の85%には後継者がいない。このまま推移すれば、遠からず我が国の蚕糸業の生産規模は産業として存続しうる水準を下回ってしまう可能性が高いと思われる。

これまで、養蚕農家数、繭生産量が減少の一途を辿ってきた主たる要因は、繭の取引価格が生産コストを大幅に下回る価格で推移し、養蚕業の収益性が著しく低かったため、養蚕農家の離農が進む一方で、養蚕農家の後継者、新規参入者が育ってこなかったことにある。

このような状況を踏まえ、今後とも我が国の養蚕業が産業として持続していくために、令和8年度から5年間、以下の対策等を実施する。

- (1) 速やかに生産コストを適切に反映した合理的な価格で繭が取引されるような環境を整備し、養蚕業の収益性を改善するための新たな支援措置の導入
- (2) 養蚕業への新規参入者及び後継者の育成、生産規模拡大の促進のための措置の充実
- (3) 高品質な国産生糸を安定的に生産する体制を構築するための支援

新たな蚕糸業対策の骨子（案）

—生産コストを反映した繭価格の実現による持続的な蚕糸業の確立—

1、生産コストを反映した合理的な繭価格形成を促進するための措置

(1) 提携グループにおける合理的な繭価格形成を促進する対策（新規）

提携グループ内で、生産コストを反映した合理的な繭価格の水準について合意し、その繭価格を実現するために繭の取引価格を計画的に引き上げた場合に、暫定的な負担軽減措置として取引価格の引上げ幅の 1/2 相当の助成金を製糸業者等に交付する。

(2) 国産生糸等の販路拡大・新商品開発に対する支援対策（新規）

国産繭・生糸の新たな販路を開拓するため、製糸業者等が燃糸業者・製織業者と連携して生地見本等を作成し、それを用いて展示会への出展等の営業活動を行うことや、提携グループ以外の絹製品製造・販売関係業者等が製糸業者等と連携して新たな販路として期待される国産生糸等を用いた新商品の開発を行うことを支援する。

(3) 国産生糸の価値向上のための措置

各種イベント等を通じて、我が国の蚕糸業の現状、国産生糸の歴史的・文化的な価値等に関する情報を積極的に発信する。

- ・「国産繭・生糸応援団」（仮称）の創設とその活動に対する支援
- ・「蚕糸の日」のイベント等を通じた広報
- ・「カイコを育てよう！キャンペーン」の充実
（学校における養蚕に関する教育に対しても共通教材の提供等の支援）

(4) 合理的な価格形成のための条件整備

- ・純国産絹マーク制度の運用改善
（国産生糸に対する純国産絹マークの付与、純国産絹マークの英語表記等）
- ・ジャパンシルクセンターの運用改善
（国産生糸を使用した絹製品の販売促進のための無償利用等）

2、養蚕業への新規参入、規模拡大による増産に対する支援の拡充

- (1) 養蚕業への新規参入及び規模拡大による繭の増産に係る桑園の改植、機械・施設等の整備については、その経費の 2/3 相当額を助成する。

(2) 新規養蚕研修の充実

- ・群馬養蚕学校と連携して新規養蚕研修の内容を充実する。
- ・研修終了後も必要な情報の提供、継続的な指導等を実施する。

3、高品質な国産生糸を安定的に生産するための支援

(1) 養蚕事業者の生産条件整備に対する支援

高品質な繭の生産に必要な桑園の造成・改植、機械・施設等の整備に要する経費の一部(1/2)を支援する。

(2) 養蚕関連事業者の生産条件整備に対する支援

国産繭・生糸の品質向上、輸入生糸との差別化、生産性向上等のための養蚕関連事業者(蚕種製造、稚蚕共同飼育、桑苗生産、製糸を行う事業者)の機械・施設、桑園等の整備に要する経費の一部(1/2)を支援する。

(3) 養蚕事業者に対する技術アドバイザーの派遣(新規)

4、養蚕関連事業者の連携に対する支援(新規)

蚕種製造業者、製糸業者等養蚕関連事業者が協同して行う蚕種、原料繭、資材・機械等の相互融通、技術者研修等の取組みを支援する。

なお、この取組みには、原蚕種の製造、製糸業務を実施している蚕糸科学技術研究所も必要に応じてオブザーバーとして参加する。

5、養蚕事業者及び製糸業者の経営の安定化に対する支援

(1) 養蚕事業者及び製糸業者の事業の多角化を通じた経営改善に資するため、繭の生糸製造以外の用途の開発、副産物の商品化等の取組みを支援する。

(2) 新規用途向けの繭需要への対応が養蚕事業者や製糸業者の経営改善につながるようにするため、大日本蚕糸会に新規用途相談窓口を設置する。

6、その他の関連対策の継続的な実施

- ・養蚕資材のリサイクルの取組みに対する支援(継続)
- ・蚕種製造業者に対する製造量に応じた支援(継続)
- ・稚蚕共同飼育事業者に対する飼育数量に応じた支援(継続)
- ・県協議会等に対する支援

国産繭の生産状況や養蚕農家の実態を把握する調査や養蚕農家等への情報提供・技術指導等を円滑に行うため、県協議会等に対して助成する。

(以上)

新たな蚕糸業対策（令和8年度～12年度）の基本的枠組み

I、生産コストを反映した合理的な繭価格の実現

（1）提携グループにおける合理的な繭価格形成を促進する対策

提携グループ内で、生産コストを反映した合理的な繭価格を実現するために取引価格を引き上げた場合に、暫定的な負担軽減措置として取引価格の引上げ幅の1/2相当の助成金を製糸業者等に交付

（2）国産生糸等の販路拡大・新商品開発に対する支援

製糸事業者等が行う国産繭・製糸の新たな販路を開拓するための生地見本等の作成、展示会への出展等の営業活動を支援
提携グループ以外の絹製品製造・販売関係業者等が行う国産生糸等を用いた新商品の開発に対する支援

※国産生糸の価値向上

各種イベント等を通じた我が国の蚕糸業の現状、国産生糸の歴史的・文化的な価値等に関する情報の積極的な発信
「国産繭・生糸応援団」の創設、「蚕糸の日」のイベント等を通じた広報等

※合理的な価格形成のための条件整備

・純国産絹マーク制度の運用改善（国産生糸に対する付与、マークの英語表記等）
・ジャパンシルクセンターの運用改善（国産生糸を使用した絹製品の販売促進のための無償利用等）

II、養蚕業への新規参入者・後継者の育成、生産規模拡大の促進

（1）新規参入・規模拡大に対する対策

新規参入及び規模拡大による繭の増産に係る桑園の改植、機械・施設等の整備について、その経費の一部（2/3）を支援

（2）新規養蚕研修の充実

・群馬養蚕学校と連携した新規養蚕研修の充実
・研修終了後も継続的に必要な情報の提供、指導等を実施

III、持続的な養蚕業の確立

＜高品質な国産生糸を安定的に生産する体制の構築＞

（1）養蚕事業者の生産条件整備に対する支援

高品質な繭の生産に必要な桑園の造成・改植、機械・施設等の整備に要する経費の一部（1/2）を支援

（2）養蚕関連事業者の生産条件整備に対する支援

国産繭・生糸の品質向上、輸入生糸との差別化、生産性向上等のための養蚕関連事業者（蚕種製造、稚蚕共同飼育、桑苗生産、製糸を行う事業者）の機械・施設、桑園等の整備に要する経費の一部（1/2）を支援

（3）養蚕関連事業者の連携に対する支援

蚕種製造事業者、製糸業者等養蚕関連事業者が協同して行う蚕種、原料繭、資材・機械等の相互融通、技術者研修等の取組みを支援

※養蚕事業者に対する技術アドバイザーの派遣

養蚕事業者及び製糸業者の事業の多角化を通じた経営の安定化に資するため、繭の生糸製造以外の用途の開発、副産物の商品化等の取組みを支援

※養蚕資材のリサイクルの取組みに対する支援

※蚕種製造業者に対する製造量に応じた支援

※稚蚕共同飼育事業者に対する飼育数量に応じた支援

※県協議会等に対する支援

「カイコを育てよう！ 2025」に取り組んで

ー全国蚕糸関係博物館横断キャンペーンー

「カイコを育てよう！ 2025」実行委員会

各地の博物館では、地域の特色を活かした博物館展示、催事が行われています。特に夏休みを中心に「カイコの飼育体験」が開催されてきました。こうした活動を統一的、横断的に紹介し、蚕糸業の現状を知ってもらうとともにこれからの蚕糸業を考えようと昨年に続き、「全国蚕糸関係博物館横断キャンペーン」を実施しましたので、その概要について報告します。

今回参加した機関は、以下の7施設でした。ポスター・チラシ・HPで広報活動を行うこととしました。また、グッズとして参加機関のキャラクター7体を印刷した一筆箋を作成し、配布しました。カイコの飼育に挑戦した方は約700名学校の参加数は30校で、感想付きのプレゼント応募者も多く、抽選の上商品発送を行いました。

多くの方に蚕糸に関心を持っていただくきっかけとなり、今後に繋がるものと期待しています。



参加施設（博物館）・行事名

参加施設名	参加行事名
群馬県立日本絹の里	学ぼうカイコ
シルク博物館	「カイコの一生」を観察しよう！
駒ヶ根シルクミュージアム	夏休みにおうちでカイコを育てよう
岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー	糸都岡谷で、カイコとシルクを知ろう！ わくわくふれあいシルクサマーセミナー
西予市野村シルク博物館	カイコを育てよう！ 2025
野外博物館 北海道開拓の村	「カイコを育てて自由研究」
ジャパンシルクセンター	カイコと友だちになろう！

厳かな「生糸繰糸始式」と蚕糸業の振興

碓氷製糸株式会社

代表取締役社長 安藤俊幸

快晴のもと、しーんと静まり返った会場、群馬県安中市・碓氷製糸株式会社。令和7年7月18日、「第63回式年遷宮 御装束神宝御料生糸繰糸始式」は、厳かに開式しました。和田斎主（咲前神社宮司）をはじめ、神宮神宝装束部関係者、本式典主催者の株式会社高島屋、御料生糸を提供している松岡株式会社（山形県酒田市）、西予市立野村シルク博物館（愛媛県西予市）、一般財団法人大日本蚕糸会（東京都千代田区有楽町）並びに同蚕糸科学技術研究所（茨城県稲敷郡阿見町）に加え、群馬県並びに弊社関係者併せて45名の参加を得ました。

会場である繰糸場は、高温な蒸気、湯があり、7月の外気温が高い時期、冷風機、氷柱など会場の室温管理を徹底し、生糸繰糸始式は、【降神之儀】、【献饌】、【祝詞奏上】、【切麻散米】、【玉串奉奠】、【撤饌】、【昇神之儀】、【斎主一拝】と続きます。玉串奉奠は、各界の代表として、神宮少宮司 齊藤郁雄様、一般財団法人大日本蚕糸会会頭 松島浩道様、株式会社高島屋代表取締役社長 村田善郎様、そして碓氷製糸株式会社代表取締役社長とそれぞれ所属関係者が行いました。



御料生糸繰糸始式

閉式後、「御料生糸の繰糸始め」の儀式。弊社社員により整備された繰糸機のメインスイッチを ON。静まり返っていた工場内に「ヴー」と大きなモーター音が響く、繰糸が始まり参加者から大きな拍手と厳粛な雰囲気や和らぎ、ホッとした空気に包まれました。



繰糸始めの儀を務める社員

御料生糸は、2033 年の式年遷宮にご使用になられる「織物」、「組物（組紐）」に調製後、神服類として「御衣・御裳等」など御装束御神宝にお使いになります。品質は最高級品の純国産生糸（6 A 格）をお納めし、一般品と区別して「御料生糸」と別称されます。御料生糸の原料となる繭は、「原種小石丸」、「春嶺鍾月」、「あけぼの」の三種。特に、日本古来の繭の品種の一つ「原種小石丸」は、群馬県前橋市の養蚕農家が新芽が生長した桑葉を飼料として丁寧に蚕を飼育して生産しています。収穫した「真っ白な繭」は、茨城県阿見町一般財団法人大日本蚕糸会の研究機関、蚕糸科学技術研究所で御料生糸に加工。一方、松岡株式会社、弊社の二社は「春嶺鍾月」、西予市立野村シルク博物館は、「あけぼの」の生糸に加工しています。神宮から「ぜひ、日本の純国産の繭、生糸、絹織物」の製造の相談があり、各社連携して、純国産生糸を遷宮に係る主要な神宝、御装束の素材として、繰糸しています。

今、日本で繭を生産する農家数と繭生産量は年々減少し、令和 6 年度実績では全国で 134 戸、繭生産量 38,472.5 kg、うち群馬県 53 戸、繭生産量 14,672.9 kg と減少傾向が続いています。従事者の高齢化、後継者不足等構造的な課題も大きいですが、純国産絹の宣伝力の弱体などあり、業界全体として対応が求められています。この度の「御料生糸繰糸始式」を機に多くの方々に国産繭・生糸のすばらしさを宣伝し、純国産生糸を使用した着物等商品の展示、普及に努めていきます。

なお、式典終了後、式典参加者には御料生糸繰製工程をつぶさに視察いただきました。また、群馬県立歴史博物館では、令和 7 年 7 月 17 日から 8 月 31 日までの間、特別展示「伊勢神宮と群馬展」が開催され、御装束神宝のうち、蚕糸絹に関する資料と貴重な展示品を多くのご来場の方々に鑑賞していただきました。

生糸繰糸始式を終えて、群馬県内をはじめ全国から、多くの方々から純国産繭、生糸の生産に対し、励ましをいただいております。これまで以上、優良な御料生糸の生産に努めていきたいと決意を新たにしています。

純国産絹糸を知る

女子美術大学

教授 大崎綾子

希少性の高い日本の絹のすばらしさを学ぶために、本学工芸専攻では純国産の宝絹から刺繍糸をプロデュースし作品制作を行っています。本年度は、日本刺繍を学ぶ学生が蚕からどうやって糸が生まれるのかを知る為に、令和7年5月15日に阿見の蚕糸科学技術研究所に研修に伺わせていただきました。参加学生は刺繍を専攻する3、4年生で、日頃から絹糸を染色し、撚りを施し絹の裂地に刺繍をしており、絹は最も身近な素材です。今回改めて「絹を生み出す昆虫」として蚕を知り、繭をどのようなシステムで糸にしていくのか、その安定した供給のために研究所ではどのような取り組みを行っているのかを見学することが出来ました。

まず、門野所長から蚕糸科学技術研究所の活動概要をご紹介いただき、続いて、栗岡研究員より「シルクの品質について」お話がありました。「ラウジネス」等の糸の品質に関わる問題などは、実際に絹糸を使用していると心当たりのある内容で興味が深まりました。次いで花之内研究員より「シルクの染色加工について」として合成染料での安定した染色研究についてや研究成果の色見本を拝見させていただきました。続いて「繰糸室・生糸検査室」を岡島研究員に

解説いただきました。繰糸室の大きな機械で「繭」をひいていく熟練の技に感嘆しつつ生糸検査室へ移動し、検査のための様々な器具やその精密な検査工程をうかがいました。絹を製品として流通させるための日本の基準の高さを感じずにはられませんでした。検査室では21中の糸を検査していました。普段の刺繍の制作では絹糸21中1本を1菅とし、6菅の糸を撚り合わせる1本1本。12菅の糸を撚り合わせる2本1本の糸を使用していますので、1菅の糸のその細さを改めて実感することが出来ました。

その後、屋内と屋外の蚕室を門野所長にご案内いただきました。あいにく蚕のいない時期でしたが、広い空間に蚕が飼育されていることを想像し、養蚕のご苦労に思いをはせることが出来ました。最後に桑園にうかがわせていただきました。松川研究員から広大な桑園では様々な種類の桑が育てられている構成をうかがいました。広大な桑畑で大自然を満喫することが出来ました。研究所に戻り最後に質疑応答がありました。研究所の皆様からは絹繊維の今後についてご質問をいただくなど、学生たちは「自分なら何ができるか」を考える機会になりました。心に残る研修会になりました事、

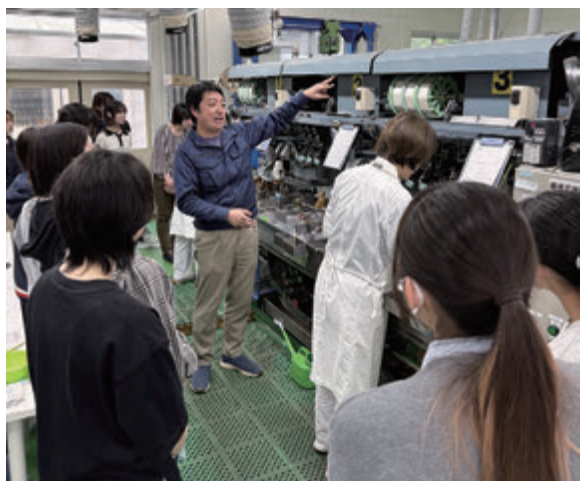
改めてこの場をお借りして研究所の皆様にお礼を申し上げます。その後、学生たちはどのようにすれば絹の魅力を発信することが出来るのかを3年生は名古屋帯制作で、4年生は卒業制作を通じて考えています。

夏休みが始まった令和7年8月6日～8日の3日間、有楽町のジャパンシルクセンターにおいて作品の展示販売「SILK × 女子美 - 技をつなぐ -」を株式会社マルシバ様のご協力を得て開催しました。毎年この時期に大日本蚕糸会様では小学生に蚕を配布し育成を奨励していることから、小学生を対象に絹糸に触れる糸より体験のWSを行いました。幅広い年齢の方に絹糸に興味を持っていただけたと感じました。

展示作品は、3年生の前期に制作した刺繍名古屋帯です。五泉の塩瀬の帯地に糸は純国産の宝絹を使用しています。各自テーマを決めて描いたデザインに合わせて技法を考え刺繍をしていきました。女子美に伝わる写実表現のための技法「乱点・二本乱点・三本乱点」や地の目を見せるような透けた繻い方「菅繻」等が多用されており、学生自身も日本刺繍の新たな魅力を発見す

ることが出来ました。販売の小物は研究所の見学に参加した3年生の有志や若手の卒業生の制作によるものです。

今年のサブタイトル「技をつなぐ」は日本刺繍の伝統技法を学び、応用作品を制作していく本学の教育方針を重ねたもので、今年度が大学設立から125年の節目であることから今年にふさわしいタイトルであると考えました。大学には明治40年頃からの学生の刺繍作品が残されています。当時の絹糸は糸自体が細く14中相当の糸ではないかと推定され、その細さが繊細な仕事を生んだのだろうと推測しています。作品の中から16点をこの秋東京都美術館で開催される「刺繍がうまれるとき」展に出展します。自らスケッチに出向いて制作した郊外の風景刺繍や日本画の手本を模写して刺繍をした色紙大の大きさの小作品です。(前期令和7年11月18日～12月14日、後期令和7年12月16日～令和8年1月8日、前期後期で展示替えがあります)実際に作品をご覧ください、その繊細な刺繍をご覧ください。



蚕糸科学技術研究所 繰糸室見学



ジャパンシルクセンター 糸より体験WS

アップサイクルした「煮繭水」による商品化への挑戦

碓氷製糸株式会社

常務取締役 土屋真志

ここ数年、繭の減産、重油・電気など光熱費の暴騰、安価な輸入生糸の外圧などにより、碓氷製糸の経営は厳しさを増している。このような状況の中、経営改善に向けた一つの取り組みとして、新たなオリジナル商品の開発に取り組んでいるので、その概要について報告する。

なお、この開発にあたっては、大日本蚕糸会の令和6年度国産生糸需要拡大対策事業（蚕糸絹提携自立化支援事業）により、多大なるご支援をいただいたので申し添える。

1 シルク素材の選択

約2年前から一般社団法人富岡シルク推進機構の長谷川専務から紹介いただいたOEMメーカーと新商品開発の検討を始めていた。使用するシルク素材の選択にあたっては貴重な繭と生糸以外のものを原料にしたいと考え、煮繭水、キビソ、ビス、キャリアなど副蚕の素材化の可能性を試験をしていただいた。

試験を繰り返す中で煮繭水に白羽の矢が立った。これまで廃棄していた煮繭水を精製してアップサイクルできたら新素材となるのではないか。ただ乾繭を煮た煮繭水には様々な雑菌が混入することもあり、その処理方法の試行錯誤が繰り返されて新素材となる「シルクエキス」は完成した。

2 新商品の企画・開発

次の段階として、「このシルクエキスを使用して何を開発するか。オリジナリティを高める工夫はできないか」と、商品企画の議論が始まった。

現状のオリジナル製品のラインナップの中で、浴用タオル、絹入り石けん、絹ローションなど風呂用品が人気であったことから、この売れ筋を強化する商品にすることとし、新素材のシルクエキスをたっぷり配合した「シルク全身シャンプー」と「シルクヘアマスク」を開発することに決定した。

更に、オリジナリティを高める工夫では、ここ群馬県の名産品成分である永井酒造（川場村）の酒粕エキス、群馬県が日本一のこんにゃく由来のセラミド、ボイセンベリーエキスを厳選配合し、「群馬で髪の毛にいいもの大集合！」の商品とした。

3 シルク製品の特徴

（1）絹全身シャンプー

シルクエキスを約5%配合。この1つのアイテムで、ボディソープやシャンプー、洗顔フォームなど複数用途の使用が可能。豊かな泡立ちで髪の毛との親和性に優れ、しなやかな洗い上がりになると好評。（写真1）



写真1 絹全身シャンプー

(2) ヘアパック絹美髪マスク

シルクの効用を全面的にアピールするため、シルクエキスを基礎水に約20%とふんだんに配合した。

しっとり、なめらか、艶のある髪に仕上がる。独自成分が髪のコまでしっかり浸透してしっかり補修保湿。使い続けるほどに自然なハリ・コシ、艶のある美髪へ。白髪までも美しくなり、白髪が気になる方にもオススメ。(写真2)

4 商品の販売促進

販路については、碓氷製糸が既に持っているジャパンシルクセンターや世界遺産「富岡製糸場」などに加え、新規に温泉王国である群馬県に強みを活かして温泉旅館・ホテルとも商談を重ねている。

今後は、10月にリニューアルオープンする「ぐんまフラワーパーク+」での販売が既に決定しており、更にBASEなどを利用したECサイトによる直販の強化、数年後にオープン予定の「道の駅あんなか(仮



写真2 ヘアパック 絹美髪マスク

称)」での販売も計画している。

【お問い合わせ先】

ご紹介したシルクエキス、絹全身シャンプー、ヘアパック絹美髪マスクのご購入、お問い合わせは担当者までご連絡ください。

ネットでの購入をご希望の方はこちらから！



碓氷製糸直販QR

【碓氷製糸株式会社 担当者:土屋(常務)、阿部】

〒379-0221 群馬県安中市松井田町新堀甲 909

TEL:(027)393-1101 FAX:(027)393-1102

E-mail : usui@xp.wind.jp

令和 7 年度持続的養蚕業確立事業の取組について

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸絹業振興部

大日本蚕糸会では、農林水産省の補助事業「令和 7 年度持続的生産強化対策事業推進費補助金等（茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（全国的な支援体制の整備事業）」の採択を受け、令和 6 年度に引き続き、我が国における持続的養蚕業の確立に向けた方策の検討「持続的養蚕業確立事業」を行っています。

令和 6 年度の成果

持続可能な養蚕業の確立を目指すためには、需要に応え得る安定生産基盤が不可欠であり、病害による生産減少や品質低下のリスクを低減するため、新たな混合薬剤による蚕室消毒方法を現地実証した上でマニュアルを作成し普及を図りました。また、現地の技術指導体制が弱体化してきている中で技術アドバイザーの派遣を行いました。これらは、今後の良質繭安定生産につながることを期待されます。

また、将来、養蚕業において温室効果ガス削減をアピールできるようにすることをねらいとして、簡易な方法で桑の剪定枝のバイオ炭化が可能なことを実証しました。市町村の一般廃棄物処理規制に留意しつつ活用が期待されます。

さらに蚕糸業を核とした地域づくりを進めている市町村等の先進事例を収集・整理し他の自治体の参考になるようホームページ（silk.or.jp/wp-content/uploads/jizoku_jireishu.pdf#view=Fit）等で情報発信しました。蚕糸絹業の歴史的・文化的価値の再認識により、自治体における蚕糸業支援が広がることが期待されます。

新たなビジネス潮流の検討の一環として、国内外の有識者を招いて講演会を開催し、付加価値向上方策についての情報を得るとともに全国シルクビジネス協議会の主要メンバー等によるWGを開催し国産繭・生糸を用いた付加価値の高い製品づくりについて検討しました。加えて、製糸会社の参加の下、国産生糸の商談会を開催し、具体的な製品開発につなげました。

国内外の多くの方に国産繭・生糸を知ってもらうため、国際会議やイベントの場を活用し蚕糸絹関連の展示を行うとともに、3月14日を「蚕糸の日」として登録し、3月を蚕糸月間として関係団体等の取組を推進しました。

令和 7 年度の取組

令和 7 年度も事業実施に当たり有識者の幅広い助言を得るため、令和 6 年度に引き続き持続的

養蚕業確立検討会を設置しています。

第1回検討会を6月3日に開催し、今年度の事業計画を中心に意見を伺いました。

令和7年度は養蚕の基盤である桑園について重点的に取り組むこととしています。桑園については、現状、全国的な実態が把握されておらず、改植計画もなく、桑苗の供給体制も整っていません。また、一部地域で桑萎縮病が発生しており、早期に主要産地において専門家による桑園診断を行い必要な対応策を助言していくことが急務となっています。このため、蚕糸科学技術研究所の技術者に加え桑の専門家を技術アドバイザーとして新たに登録し、養蚕農家への助言を行うとともに、今後の桑園管理指導の基礎とするため養蚕農家の桑園の情報を収集し既存の養蚕農家情報と合わせてデータベース化を進めます。

また、国産生糸製品に対する需要を喚起する環境づくりとして、「蚕糸の日」に関連したイベント等を活用して蚕糸業の現状やその歴史的・文化的価値について消費者の理解を深めるとともに、「国産繭・生糸応援団（仮称）」を設立し企業や個人のサポーターを募ることとしています。さらに、国産生糸の強みを活かした付加価値の高い製品づくりに向けて、トレーサビリティ確認のための安定同位体を用いた生糸の産地判別、製糸工程の国際的な有機認証（GOTS 認証）、少量多品目生産システムの構築について検討することとしています。

事業スケジュール

	検討会	桑園調査・データベース化	技術アドバイザー派遣	新たなビジネス展開				需要拡大	
				WG	産地利別	GOTS認証	少量多品目流通	応援団・イベント	広報資料
4月									
5月		調査の企画	技術アドバイザー追加愛媛県研修会(9日)		FAMICに依頼				
6月	第1回検討会(3日)	調査の実施(27日)			FAMICと契約締結(30日)	認証機関に依頼	工芸作家等に依頼		
7月				第1回WG(11日)	資材送付	第1回検討会(17日)	織物業者打合せ(9日)	会員募集	広報資料の作成
8月		調査締切(15日)	山形・福島						
9月			栃木・群馬						
10月		データベース化	埼玉・岐阜・愛媛	第2回WG(6日)					
11月	第2回検討会(13日)								
12月									
1月									
2月				第3回WG					
3月	第3回検討会							「蚕糸の日」関連イベントの実施	

(詳細は右記 URL 参照 <https://silk.or.jp/business/sustainable/>)

国産シルクを活用した絹-PE 交織織物の研究開発

福島県ハイテクプラザ
材料技術部 繊維・高分子科
東瀬 慎

1. 研究背景

1) 清涼衣料用絹-PE 交織織物の開発

絹-PE 交織織物は、福島産地が得意とする軽目羽二重に、これまで衣料用途では使用されなかったスーパー繊維（超高分子量ポリエチレン、以下 PE）を緯糸に交織した織物です。意匠性と接触冷感性を両立した交織織物 1）として、社会問題となっている熱中症対策用素材に活用を検討しております。具体的な製造方法は、製織後に湿潤した状態で砑打ちを繰り返すことで、図 1 のような経糸柄と光沢感を表現することができます。2022 ジャパン・テキスタイル・コンテストで準グランプリ「作品名：砑打螺旋羽二重」の評価を得ることができました。

なお本技術は、絹-PE 交織織物に SS 加工（砑打ちに代わるポリウレタン製摩擦子による目寄れ・スリップ加工）を行い、意匠性と機能性（接触冷感性、軽量性）を持

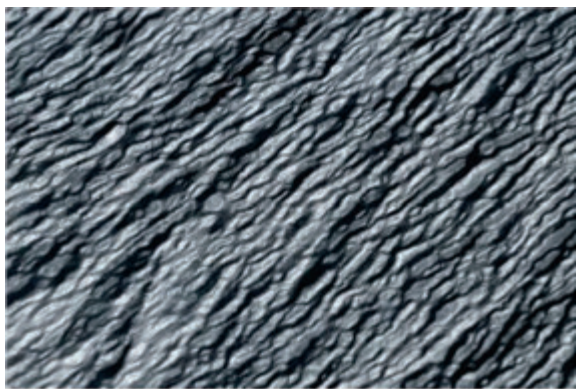


図 1 開発した絹-PE 交織織物

（引用： <https://bishu-japan.com/company/detail/92/news/488>）

つ新しい絹織物の製造方法として特許化「特許 7710273」を行いました。

2) ふくしまオリジナル蚕品種の特徴

ふくしまオリジナル蚕品種「青熟×支 122 号 F1」は、一般社団法人大日本蚕糸会蚕業技術研究所（現、蚕糸科学技術研究所）の技術指導を受け、過去に福島県伊達郡掛田村で育成された「青熟」種と、昭和 13 年に蚕糸試験場福島支場の中里延氏によって育成された「支 122」種を一代交雑種で掛け合わせた品種です。平成 29-30 年度貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成では、「国産シルクを活用した新シルクデニット糸に関する研究開発」の成果として、「青熟×支 122 号 F1」種が、「小石丸×支 122 号 F1」「日 122 号×支 122 号 F1」「春嶺×鐘月」に対して、ソフト感とバルキータンに最も優れることが分かっています。

一方、「青熟×支 122 号 F1」種を用いたシルクデニット糸の製造方法については、特許化「特許 6759518」を行いました。

2. 貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成を受けて

令和 5-6 年度一般財団法人大日本蚕糸会の貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成を受けた「国産シルクとスーパー繊維を交織した新規清涼衣料の開発」の研究成果につい

て、①絹-PE 交織織物のドレープ性と機能性評価、②「青熟×支 122 号 F1」によるサプライチェーンの構築について報告いたします。

3. 研究内容

① 絹-PE 交織織物のドレープ性と機能性評価結果

JIS L1096 8.21.7 G 法（ドレープ係数法）の結果を図 2 に示します。ドレープ係数とは生地が自重によって垂れ下がる状態を数値化したものです。ドレープ係数が小さいほど布はより大きく垂れ下がり、ドレープ性が高いと判断されます。逆にドレープ係数が大きい場合は布が硬くドレープ性が低いと判断され、風合いと同等にシルエット、フォルムに影響する重要な要素となります。

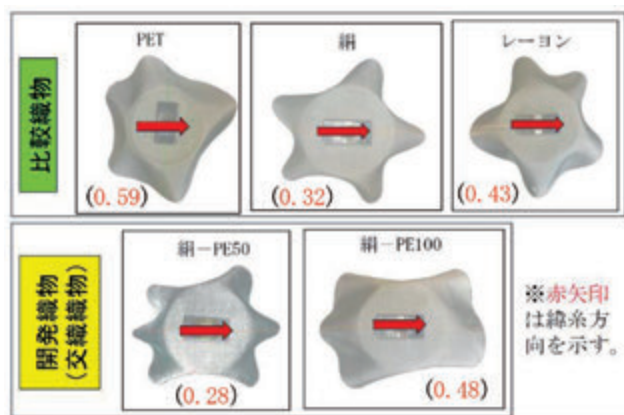


図 2 織物におけるドレープ形状の違い
(赤字：ドレープ係数)

絹-PE50 交織織物のドレープ係数は小さく、また絹-PE100 交織織物のドレープ形状は緯糸 (PE) 方向に保持力があり、他の織物と比べて経・緯のドレープバランスに異方性を持つ特徴があることから、仕立て映え時のシルエット、フォルムの形成に利点があると考えられます。

次に側面方向からのドレープ性の試験方

法を図 3 に示します。試料台の水平面を基準とし、織物の曲げ剛性を示す水平保持長（経緯方向）とノード傾斜角（経緯方向）を 3 回測定し平均値を求めた結果を表 1 に示します。水平保持長については試料間で変化が小さいのに対し、ノード傾斜角は試料間および経・緯方向で違いが見られました。

表 1 側面ドレープ性試験結果

	水平保持長(mm)		ノード傾斜角(度)		曲げ剛性(gf・cm)	
	経長	緯長	経糸	緯糸	経方向	緯方向
絹-PE50	11.0	12.1	45.8	36.7	0.01	0.05
絹-PE100	10.7	11.1	31.4	21.2	0.01	0.23
絹	10.5	11.1	46.9	42.9	0.02	0.03
PET	10.9	11.9	21.3	36.5	0.11	0.05
レーヨン	10.2	11.4	31.3	34.8	0.14	0.06

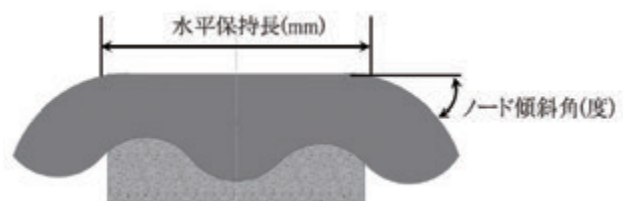


図 3 側面ドレープ性試験方法

特に絹-PE100 交織織物の緯糸方向のノード傾斜角が小さいのは、図 2 のドレープバランスの異方性となって現れ、このことは表 1 の緯方向の曲げ剛性が高い値を示すことから裏付けられると言えます。

次に曲げ剛性とノード傾斜角の関係を図 4 に示します。

曲げ剛性の上昇とともに、ノード傾斜角は低下する傾向を示しました。絹-PE 交織織物（緯糸）のノード傾斜角は PE 織度の違いにより相反する結果となりました。また交織織物（経糸）の曲げ剛性は、比較織物と比べて最も小さく、交織する緯糸 PE の織度を適宜選択することで、幅広いアイテ

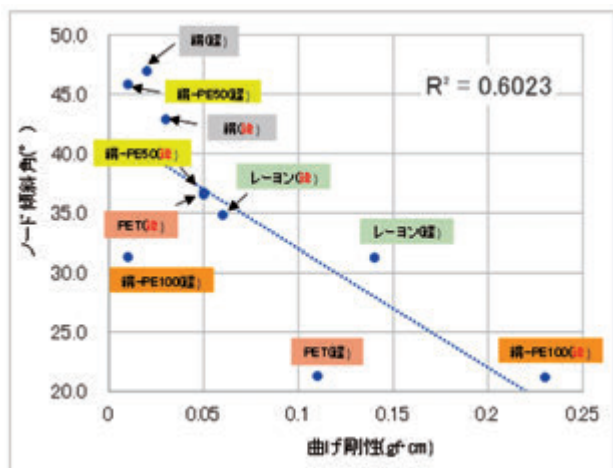


図4 曲げ剛性とノード傾斜角の関係

ム (スカーフ、トップス、ワンピース、寝装寝具等) の展開が期待されます。

① - 2 夏用衣料に必要な機能性評価の結果

機能性評価として、JIS L 1927 接触冷感性 (Q-max 値) および AATCC 201 吸水速乾性の測定結果を図5に示します。絹-PE交織織物は他の織物素材に比べ接触冷感性 (黄色) が高い傾向にあります。これは熱伝導性の高いPEを交織したことでQ-max値が向上するためです。一方、絹-PE100よりも絹-PE50のQ-max値が高い理由は、交織織物の表面凹凸の違いによる、センサー表面との接触面積の差に起因すると推測されます。

次に、吸水速乾性 (青色) の結果から、絹-PE100はPET、絹、レーヨンよりも高い吸水速乾性を示しました。また絹-PE50が絹-PE100より吸水速乾性が低い理由は、緯糸PE繊維の糸量と毛細管による吸水量の違いによるものかどうか今後検討を進める予定です。

② 「青熟×支122号F1」によるサプライチェーンの構築

繊維産業が盛んである福島県北地域で

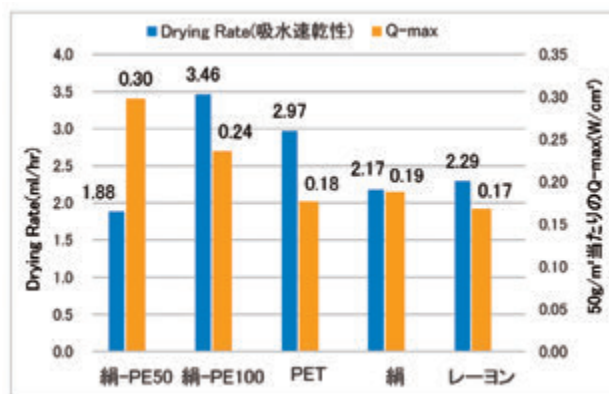


図5 接触冷感性と吸水速乾性の結果

は、繊維企業と近隣市町村及び公設試が連携し、地元の歴史と風土と文化を継承した新たな地域商品の開発や「もの」と「こと」を組み合わせた観光資源の展開を図っています。例えば、県ニット組合企業が目指す伊達染めや健康志向を訴求した製品開発、またふくしまの蚕品種を使った多様な地域商品の出口戦略に現在取り組んでいます。最後に絹-PE100交織織物を使用した試作品を図6に示します。



図6 試作したワンピース (絹-PE100交織織物)

参考文献

- 1) 東瀬慎, 中村和由他. “国産シルクとスーパー繊維を交織した新規清涼衣料の開発”. 令和5年度福島県ハイテクプラザ試験研究報告. 2024.

桑剪定枝バイオ炭づくりの試み

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸科学技術研究所
赤井雅志

養蚕農家に共通する悩みのひとつが、春切りや夏切りなどで出る桑の剪定枝の処分ではないでしょうか。当研究所では桑剪定枝を粉碎した後に土壌にすき込み、微生物による分解に頼っています。

ところで、果樹生産が盛んな山梨県では、果樹の剪定枝をバイオ炭化することで、温室効果ガス削減に向けた国際的な活動「4 パーミルイニシアチブ」に積極的に取り組んでいます。4 パーミルイニシアチブとは、世界の土壌中の炭素量を毎年0.4%（4 パーミル）増加させると、経済活動により排出される大気中の二酸化炭素の増加分を相殺し、地球温暖化を抑制できるという理念に基づく国際的な取組みで、2015 年の COP21 でフランス政府によって提案されました。

剪定枝のようなバイオマスから製造される炭は「バイオ炭」とよばれます。そのため、桑剪定枝からもバイオ炭をつくることができます。バイオ炭に含まれる炭素は難分解性のため微生物による分解を受けにくく、長期間土壌中に貯留されます。また、バイオ炭は土壌の透水性、保水性および通気性の改善などの効果も期待できます。

バイオ炭の農地施用は、生産者が取り組むことができる地球温暖化対策であり、さらに農産物の高付加価値化と土壌改良効果などの営農上のメリットも期待できるため、

農林水産省でもこの取組みが推進されています 1)。



写真 1



写真 2

そこで、養蚕においても地球温暖化対策を意識し、国産繭の高付加価値化を図れないか検討するため、桑剪定枝からバイオ炭を試験的に製造したときの作業概況について紹介します。なお、本試験は令和6年度農水省持続的生産強化対策事業の一環で行いました。

今回の試験では、研究所桑園で毎年7月に行う夏切り伐採の剪定枝をバイオ炭原料

としました。剪定枝は約5aの桑園から採取し（写真1）、採取した桑剪定枝は露天で乾燥させました（写真2）。果樹剪定枝のバイオ炭製造例などを参考に検討した結果、伐採した桑剪定枝の乾燥期間は2か月程度で問題ないと判断しました。

次に、バイオ炭化に必要な機材として、市販の無煙炭化器（㈱モキ製作所）を購入しました（写真3）。無煙炭化器は直径が約150cm、重さ23kg、容積450Lのステンレス製で、燃焼時の渦巻き対流によって煙の発生量が低減されます。



写真3

さて、7月の夏切り伐採から2か月が経過し、桑剪定枝がほどよく乾燥し、炭づくりを始めようかという矢先に私達は大きな障壁に直面しました。それは、研究所所在地の自治体では農林業等で発生する廃棄物の野外焼却が認められないことから、無煙炭化器を使用した屋外焼却行為も許可が下りず、研究所桑園での炭づくりが不可能になってしまいました。この通達を受けて関係者一同途方に暮れました。しかし、幸いなことに近隣の農研機構の飯塚氏の研究室で桑剪定枝からバイオ炭づくりを行っているとの情報を得たので、相談したところ、農研機構の敷地でバイオ炭づくりができるよう手配をしていただけました。さらに、

炭づくりにおいてもご助言をいただき、私達は安心して初めてのバイオ炭づくりに挑戦することができました。

バイオ炭づくりは、まず枯草を使って桑剪定枝への着火を促進しますが、しばらくすると炎は収まり、桑剪定枝の炭化が進行しました。炭化するまでの所要時間は約30分間でした（写真4）。



写真4

次に、バイオ炭づくりで重要な消火作業を行います。炭化の状態を見て、水をかけて完全に消火します。消火が不完全ですと、火災の危険があるだけでなく、出来上がった炭がさらに燃焼して灰になってしまうため消火は適時に確実に行うことが重要です。写真5は作業現場近くの水道からホースで消火作業を行ったときの様子です。



写真5

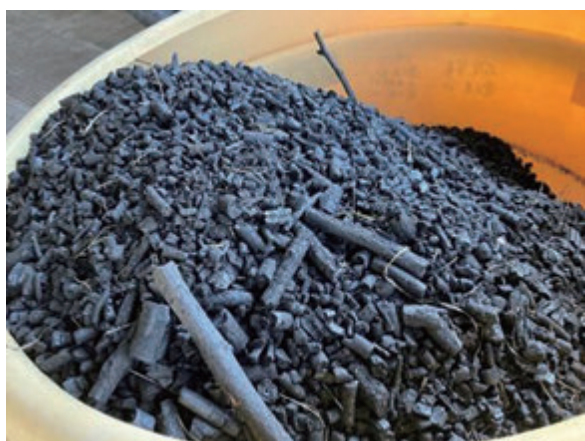


写真6



写真7

今回の試験では乾燥した桑剪定枝約300kgから約90kgのバイオ炭（写真6）が得られました。早速、このバイオ炭を桑園に散布してみました。桑剪定枝バイオ炭は、桑園で散布するペレット堆肥や化成肥料と同程度の大きさだったので、肥料散布機（ブロードキャスター）で問題なく土壌に散布することができました（写真7）。これで、試験規模ではありますが、4パーミルイニシアチブに準じた炭素貯留に関わる作業を実践したことになります。また、桑剪定枝バイオ炭の有効利用のために、野菜の生育に及ぼす影響などの調査も現在検討しています。

野外での桑剪定枝のバイオ炭化試験を実際に行ってみたところ、毎年処分に困る桑剪定枝を、簡易炭化器を用いて土壌改良に有効な資材に変換できることは、まさに一石二鳥な桑園管理方法であると感じました。

炭化作業を行う時期としては養蚕閑散期の冬期が適しているといえるでしょう。また、火災防止の観点から、消火には大量の水を必要とするため、水道に近い場所での作業が望ましいといえます。桑剪定枝のバイオ炭づくりは、養蚕農家にとってはひと手間かかる仕事にはなりますが、実践してみる価値はあるのではないのでしょうか。環境問題を意識した取組みで生産される国産繭に対して、消費者はネガティブなイメージを持つことは少ないと思われます。

最後に、バイオ炭が廃棄物処理法上の「廃棄物」に該当するか否かの判断は各自治体により異なりますので、私達のような失敗をしないために、桑剪定枝のバイオ炭化の導入を検討する場合には、自治体への事前相談が特に重要です。

1) バイオ炭をめぐる事情 令和6年3月 農林水産省農産局農業環境対策課

イベント情報

●岡谷蚕糸博物館 企画展

「新収蔵 竹内家着物コレクション 受け継がれる絹の文化」

長野県東御市の竹内家に所蔵されてきた、明治から昭和にかけての着物を初公開いたします。子どもの祝い着や振袖など豪華なハレの着物から、うち織りの日常使いの着物など、多彩なコレクションを通して、蚕糸業の発展した信州の旧家に伝わる着物文化をご覧ください。

〈会期〉 令和7年9月4日（木）～11月16日（日）

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ーシルクファクトおかやー

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<https://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●日本絹の里 特別展

「糸かけアートの世界 ～心を紡ぐ 絲語り～」

釘に糸を掛けて紋様を描き出すアート。一定のリズムで糸を掛ける手しごとは、数や図形を学ぶ教育的側面や、心を整える心理学的観点など様々な分野から注目を集めています。5人の糸かけ作家による、緻密で繊細な芸術の世界をご堪能いただきます。

〈会期〉 令和7年9月11日（木）～11月15日（土）

休館日：火曜日、9/24（水）

※9/23（火）は祝日のため、10/28（火）は「群馬県民の日」のため開館

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里

「群馬の絹」展 ～見る、買う、装う、シルクとの出会い～

群馬の繭・生糸を使用した、和装品や洋装品、工芸品などの絹製品の展示と販売を行います。手織りや藍染め等のワークショップ、きもの着付け体験などのイベントも同時開催します。会期中は特別に入館料無料となります。

〈会期〉 令和7年11月20日（木）～11月24日（月・休）

会期中無休

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「まゆクラフトと絹の作品展」

繭の特性をいかした独創的なまゆクラフト作品とともに、工芸作家及び日本絹の里友の会会員による作品を展示し、絹や繭の魅力を紹介します。

〈会期〉 令和7年11月30日（日）～令和8年2月1日（日）

休館日：火曜日、年末年始〔12/27～1/6〕※1/3は臨時開館

〈主催〉 群馬県立日本絹の里

〈会場〉 群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 秋の特別展

『第28回全国染織作品展』

〈会期〉 令和7年10月25日(土)～11月29日(土)

休館日：月曜日(祝休日の場合は翌日)

〈主催〉 シルク博物館

〈会場〉 シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地シルクセンター2階

Tel: 045-641-0841

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

●シルク博物館 10～12月イベントのご案内

【実演・ワークショップ】 ※ワークショップの申し込みは事前予約制です。

10月4日(土) 【ワークショップ】シルクスカーフ染め体験

11月1日(土) 【ワークショップ】くみひもストラップ作り

11月8日(土) 【子ども向けワークショップ】まゆ人形作り

11月15日(土) 【子ども向けワークショップ】かいことシルクの勉強会

11月29日(土) 【実演】手作り真綿

12月6日(土) 【ワークショップ】くみひもストラップ作り

12月13日(土) 【子ども向けワークショップ】★クリスマス企画★ランプシェード作り

12月20日(土) 【子ども向けワークショップ】★クリスマス企画★まわたの天使作り

【講習会】 ※抽選に当選した方のみ、ご参加いただけます。

10月11日(土) 手作り真綿の講習会

※抽選申込期間：8/30(土)～9/27(土)／抽選結果連絡：9/30(火) 予定

10月18日(土) 手紬糸作りの講習会

※抽選申込期間：9/7(日)～10/4(土)／抽選結果連絡：10/7(火) 予定

11月22日(土) 手紬糸作りの講習会

※抽選申込期間：10/11(土)～11/8(土)／抽選結果連絡：11/11(火) 予定

【イベント】

12月16日(火)～1月25日(日)『たのしいかいこの発表会』(12月21日(日)表彰式)

※「たのしいかいこの発表会」会期中、小学生は入館料無料

12月21日(日)シルキークリスマス

※「シルキークリスマス」開催日、終日入館無料

12月6日(土)～1月18日(日)横浜輸出スカーフ展示

★イベント開催報告

岡谷蚕糸博物館 企画展

「信州の作家展 Part5 小山憲市の世界」

会期： 令和7年6月19日（木）～令和7年8月31日（日）

開催報告：

上田紬の作家小山憲市氏の過去の受賞作品から現代の作品まで13点を中心に展示いたしました。7月5日・26日のギャラリートークでは小山氏の着物のファンが全国から訪れ、作品の背景にある小山氏の想いや、その時のエピソードに触れることができました。8月9日に開催しました草木染ワークショップでは、小山氏が上田城の桜の枝から煮出した染料でシルクのハンカチやストールを染め、優しい色合いの作品が出来上がりました。

群馬県立日本絹の里

特別展「石原清紫展－花園に遊ぶ友禅染－」

会期： 令和7年5月24日（土）～7月6日（日）

開催報告：

草花の特徴的な部分を抽象化してデザインし、制作する伊勢崎市在住の友禅作家・石原清紫さんの展覧会を開催し、友禅染ならではの発色の柔らかさによる、絹の染色作品の素晴らしさをご堪能いただき、改めて、天然素材である絹の魅力をご紹介しました。日本絹の里では初の試みで、ピアノの伴奏とともに、友禅染（作：石原清紫）で描かれた紙芝居ならぬ「絹芝居」の読み聞かせを行い、多くの方々に楽しんでいただきました。

群馬県立日本絹の里

特別展（夏休み展）「学ぼうカイコ～推しのお蚕さま！～」

会期： 令和7年7月12日（土）～8月31日（日）

開催報告：

今年は「推しのお蚕さま！」というサブタイトルで、カイコや繭、絹に関して、職員が「推せる！」と思うポイントについて、収蔵資料を交えながら紹介するエリアを設けました。館内では県オリジナル蚕品種「ぐんま200」を約2000頭飼育し、触れ合っていました。突然変異による珍しい模様のカイコや、天蚕も生態展示しました。

会期中は毎日、「解説員による解説会」、「桑くれ体験」を行い、中学生以下のお子様を対象とした記念品付きの「カイコクイズ」を開催し、多くの家族連れで館内が賑わいました。

シルク博物館

「かいこ教室」

会期： 令和 7 月 26 日（土）～ 8 月 10 日（日）

開催報告：

シルク博物館では、7 月 26 日（土）から 8 月 10 日（日）まで、夏の小学生向け企画「かいこ教室」を開催しました。

この教室では、「かいこについて楽しく学ぼう！」をテーマに、参加者がより蚕や絹に興味を持っていただけるようなプログラムを構成しました。平日は、「映画『かいこ』の上映」「かいこ観察会」「まゆ人形作り」「生糸のランプシェード作り」の 4 つのワークショップを午前・午後それぞれ 1 回ずつ開催し、蚕からシルクまでを半日で学べるプログラムとしました。土日は、「博物館見学ツアーとまわたのスタンド作り」をすることで、シルクの活用法についても学べるプログラムとしました。

ご参加の皆様は、それぞれのプログラムに熱心に取り組まれ、ご自身で作り上げたまゆ人形やランプシェードを嬉しそうに持ち帰られていました。

2025 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2025 年度第 2 次審査委員会を 2025 年 8 月 28 日(木)に開催しました。今回の申請は 12 者で、新規 1 者 1 品目、使用許諾されている 11 者のうち製品の追加 2 者 2 品目、履歴の追加 3 者 4 品目、数量の追加 6 者 12 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、12 者 19 品目に対し、9 月 4 日(木)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨、通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規) (株) 東京ますいわ屋 代表者名：形部幸裕 (担当者：本郷隆一) 〒 244-0805 横浜市戸塚区川上町 87 番 4 N & F ビル 1 4 階 TEL：045-392-3211 表示者登録番号 257	白生地(長襦袢地)	50 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 村井機業場 精 練 丹後織物工業組合
(製品の追加) (株) すずのき 代表者名：高田陽一 (担当者：大田顕資) 〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 1-30-7 ヤマノ 24 ビル 2 階 TEL：03-5308-5001 表示者登録番号 201	白生地(表地)	120 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 小牧織物
(製品の追加) (株) マルシバ 代表者名：木下幸太郎 (担当者：野口俊二) 〒 103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-14-6 セルバ人形町 7 階 TEL：03-3662-2431 表示者登録番号 160	古帛紗(江戸小紋)	80 枚	蚕品種 白繭細 1 号 繭生産 長野県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 芋田織物 染 色 (有) 廣瀬染工場 仕 立 やまもと工藝

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(履歴の追加) 青山きもの(株) 代表者名: 吉田英一郎 (担当者: 吉田英一郎) 〒107-0062 東京都港区南青山5-7-17 小原流会館5階 TEL: 03-3409-1051 表示者登録番号 188	白生地(表地)	17 反	制作企画 (株) マルシバ 蚕品種 ぐんま 200 繭生産 群馬県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 芋田織物
(数量の追加) (株) 三越伊勢丹 代表者名: 細谷敏幸 (担当者: 園山彩) 〒160-0022 東京都新宿区新宿三丁目14番1号 TEL: 03-3352-1111 表示者登録番号 187	白生地(表地)	35 反	制作企画 (株) マルシバ 蚕品種 三煌 蚕種製造 (株) 高原社 繭生産 長野県内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 製 織 芋田織物
(履歴の追加) 那覇伝統織物事業協同組合 代表者名: 吉浜博子 (担当者: 普久原裕子) 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町2-16 首里染織館 suikara3F TEL: 098-887-2746 表示者登録番号 156	先染反物(首里織)	10 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 織 自組合
	先染帯地(首里織)	201 本	
(数量の追加) 柳 崇 代表者名: 柳 崇 (担当者: 柳 崇) 〒154-0023 東京都世田谷区若林5-29-19 TEL: 03-3795-2917 表示者登録番号 042	先染反物 (作家作品)	15 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 撚 糸 自工房 染 織 自工房
	先染帯地 (作家作品)	80 本	

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) 祝嶺染織研究所 代表者名：祝嶺恭子 (担当者：祝嶺恭子) 〒 902-0078 沖縄県那覇市識名 1-17-15 TEL：098-832-2365 表示者登録番号 046	先染反物 (作家作品)	20 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 撚 糸 (株) 高三商店 染 織 自工房 【表示者名：祝嶺染織研究所 祝嶺恭子】
	先染帯地 (作家作品)	12 本	
(数量の追加) からん工房 代表者名：深石美穂 (担当者：深石美穂) 〒 907-0453 沖縄県石垣市川平 1175 TEL：0980-88-2459 表示者登録番号 048	先染反物 (作家作品)	10 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 撚 糸 (株) 高三商店 染 織 自工房 【表示者名：からん工房 深石美穂】
	先染帯地 (作家作品)	28 本	
(数量の追加) 柳 晋哉 代表者名：柳 晋哉 (担当者：柳 晋哉) 〒 154-0023 東京都世田谷区若林 5-29-19 TEL：03-3795-2917 表示者登録番号 223	先染反物 (作家作品)	15 反	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 前橋市管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 撚 糸 自工房 染 織 自工房
	先染帯地 (作家作品)	80 本	
(履歴の追加) (有) 綵巧 代表者名：室門恒明 (担当者：室門耕一郎) 〒 603-8322 京都市北区平野宮本町 85 番地 TEL：075-461-5394 表示者登録番号 231	先染反物 (西陣御召)	100 反	蚕品種 錦秋×鐘和 繭生産 JA ふくしま未来管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸(株) 染 色 足利染工 製 織 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：尾上崇) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物（振袖）	9 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 篠春織物（株） 染色加工 （株）千總
	後染反物（振袖）	65 反	繭生産 JA なす南管内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 （株）竹林 染色加工 （株）千總
	後染反物（振袖）	2 反	

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。

純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2025 年度第 3 次：2025 年 11 月 21 日（金）

純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2025 年 10 月 24 日（金）

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、伊藤

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3415

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

伊藤：ito@silk.or.jp

一般財団法人大日本蚕糸会から

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2025年9月4日（2025－第2次）現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服）、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物（色無地、黒紋付）
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物（色無地、黒紋付）
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物（色無地、黒紋付）
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物（色無地、黒紋付）
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物（作家作品）、後染帯地、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯、織角帯、作家作品）、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛、胴裏
012	河瀬満織物（株）	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物（色無地、黒紋付）
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物（色無地）
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地、白生地（表地）
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物（色無地、黒紋付）
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢（株）)	群馬県高崎市	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀二一、上州絹星・ぐんま 200、新小石丸）、後染帯地（（冬物・夏物）：うるし糸が5%を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袷紗、帯揚）
022	宮階織物（株）	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物（有）	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地（袋帯、名古屋帯、袋帯：金銀糸が5%を超えるもの）、先染反物（御召類、着尺）、後染反物（色無地）
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウォーマー、腹巻、手袋、靴下））
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物（江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖）、後染帯地、白生地（表地）
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物（色無地、黒紋付）
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、白生地（長襦袢地、胴裏）、ニット（靴下）、風呂敷
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 榎屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多栄子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、服飾品 (ストール)
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒紬))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地、先染反物、先染帯地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) 綾の手 (旧 (株) あきやま)	宮崎県綾町	先染反物 (綾の手紬)、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物 (色無地)、後染帯地

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物 (色無地)、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物 (色無地)
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物 (色無地)
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物 (色無地)
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物 (色無地、付下)
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物 (色無地)
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物 (色無地)
111	(株) 世きね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの)、紹九寸帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール (天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド)
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物 (色無地)
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏 (酵素精練)、先染反物 (結城紬)
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物 (黄八丈)
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物 (色無地)
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物 (色無地、江戸小紋)、白生地 (表地)
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地 (表地 (色無地、訪問着、紋意匠))
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物 (色無地、小紋、付下、訪問着)、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物 (色無地)
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物 (色無地)
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏 (酵素精練)
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地 (表地用 (紋意匠))
128	大門屋	福井県大野市	白生地 (牛首紬)、後染帯地 (牛首紬)、ショール (牛首紬)、先染反物 (飯田紬)、白生地着尺 (信州紬)
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物 (小紋)
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物 (小紋)
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物 (小紋)
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (掛布団)
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣 (長肌着、短肌着)
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物 (小紋)
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物 (小紋)
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー (手織り)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物 (小紋)
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物 (小紋)
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物 (小紋)、ニット (靴下)
142	五嶋 (株)	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏 (トルマリン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物 (色無地)、後染帯地
146	宮井 (株)	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、加賀友禅)
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物 (色無地、小紋 (変一越、紋意匠))
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、トランクス)、 パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
153	勝山織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物 (型友禅、羽二重色無地)、先染反物 (ジャガード織)
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、服飾品 (ショール)
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物 (小紋)
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (ふとん、ふとんカバー)、洋装品 (スーツ 地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地)、 服飾品 (スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカ バー、レッグカバー)
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地 (胴裏)、和装小物 (袱紗、古帛紗(江戸小紋))、 ネクタイ、帯地 (白塩瀬)
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物 (小紋)
162	福続織物 (株)	福岡市西区	先染帯地 (本袋男帯、八寸名古屋帯)
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地 (表地)
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地 (表地)
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品 (布団、膝かけ)、服飾品 (ショール)
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))、ニット (靴下)
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、服飾品 (ストール)
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ローブ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織、裏地 (紬八掛、駒八掛、紬駒八掛、紬綾八掛))、服飾品 (先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染))
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嵯が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	服飾品 (ストール)、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬、御召)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 (12 マルキ、15 マルキ))
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	服飾品 (ストール)
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地、表地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	服飾品 (ニットストール)
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷 (五条袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地 (紋意匠))
239	(株) 長谷川	京都市上京区	先染反物 (西陣お召)
240	永見 (株)	鳥取県米子市	白生地 (表地 (紋意匠))
241	京都和装 (株)	京都市下京区	白生地 (表地 (紋意匠))
242	(株) 前田源商店	山梨県富士吉田市	服飾品 (スカーフ、ストール)
243	近江真綿工房 原田	滋賀県米原市	寝具寝装品 (真綿ふとん (国産近江真綿ふとん))
244	昭和西川 (株)	東京都中央区	寝具寝装品 (真綿ふとん)
245	大迫織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
246	玉城柳子	沖縄県南城市	先染反物(着尺(首里織))、先染帯地(首里織)
247	丸八生糸 (株)	京都市上京区	白生地 (表地)
248	(株) 高島織物	京都市北区	白生地 (表地)
249	くらしつむぐあとリエ	福井県坂井市	白生地(表地、帯地)、服飾品(ストール)
250	UGAA I	東京都世田谷区	洋装服地、Relaxing wear(Night wear、Room wear)
251	石川県立津幡高等学校	石川県河北郡	白生地(牛首紬)、白生地(帯地(牛首紬))
252	合同会社COCON	大阪府四條畷市	寝具寝装品(シュラフ型シルクシーツ、ナイトキャップ、手袋、靴下)、シルクスリッパ
253	福和商事 (株)	東京都中央区	白生地 (表地)
254	(株) 錦	京都市左京区	洋装品 (ジャケット)
255	(株) 橋本絞店	群馬県太田市	絞り着尺
256	(株) ノリージュ	東京都豊島区	絹糸
257	(株) 東京ますいわ屋	横浜市戸塚区	白生地(長襦袢地)

月日	活 動 内 容 等
7/2	第4回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/11	全国シルクビジネス協議会通常総会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/11	新たなビジネス潮流 WG 検討会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/14	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
7/17	GOTS 認証検討会 (茨城県阿見町 蚕糸科学技術研究所)
7/18	神宮式年遷宮生糸繰糸始式 (群馬県安中市 碓氷製糸株式会社)
7/22	中期事業計画説明会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/30	中期事業計画説明会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
7/31 ~ 8/1	「カイコを育てよう！2025」キャンペーンの蚕配付 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/5	中期事業計画説明会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/6	中期事業計画説明会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/14	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)
8/20	テキスタイルアドバイザー講習会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
8/28	純国産絹マーク審査委員会(2025年度第2次) (東京都有楽町 蚕糸会館)
9/3	第5回常勤理事会 (東京都有楽町 蚕糸会館)
9/8	和文化・産業連携振興協議会定例会 (農林水産省農産局 会議室)

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
野外博物館北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50 - 1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12 - 2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3 - 2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1 - 2673 - 1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館 “紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450 - 1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28 - 1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3 - 1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1 - 6 - 8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064
桑都日本遺産センター 八王子博物館	192-0904	東京都八王子市子安町 4 - 7 - 1 サザンスカイトワー 3 階	042-622-8939

名 称	〒	住 所	電 話
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5 - 60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市緑区田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
相模原市立博物館	252-0221	神奈川県相模原市中央区高根 3 - 1 - 15	042-750-8030
海老名市立郷土資料館「海老名市温故館」	243-0405	神奈川県海老名市国分南 1 - 6 - 36	046-233-4028
一般財団法人繊維産業会レインボープラザ(愛川繊維会館)	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 4410	046-281-0356
愛川町郷土資料館	243-0307	神奈川県愛甲郡愛川町半原 5287 (県立あいかわ公園内)	046-280-1050
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館(織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房(織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館(絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業(株)内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3 - 15 - 1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号(上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
藤本蚕業歴史館	386-0042	長野県上田市上塩尻 248	0268-24-2460
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館(松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館(シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34 - 1 - 1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静海市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財)手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884

名 称	〒	住 所	電 話
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ（株）周辺敷地内	0773-43-1050
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1 - 4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5 - 1	0883-63-2502
アヤミハビル館	907-1801	沖縄県八重山郡与那国町与那国 2114	0980-87-2440

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一社) 日本絹人織織物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
TAFS (東京織物卸商業組合)
KOMS (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
全国シルクビジネス協議会

<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<https://tanko.or.jp>
<https://nishijin.or.jp>
<https://www.tafs.or.jp>
<https://www.fashion-kyoto.or.jp>
<https://www.wasou.or.jp>
<https://kyokai.kougeihin.jp>
<https://japan-silk.org>

【大学・試験研究機関】

農業・食品産業技術総合研究機構
北海道大学 (応用分子昆虫学研究室)
宇都宮大学 (分子昆虫学研究室)
東京大学 (昆虫遺伝研究室)
東京農工大学 (蚕学研究室)
東京農工大学 (生体分子構造学分野)
名古屋大学 (資源昆虫学研究室)
信州大学繊維学部
京都工芸繊維大学 (応用生物学課程)
九州大学 (家蚕遺伝子開発分野)
九州大学 (昆虫ゲノム科学研究室)
群馬県蚕糸技術センター
群馬県繊維工業試験場
京都府繊維・機械金属振興センター
(地独) 京都市産業技術研究所
(公財) 衣笠繊維研究所

<https://www.naro.go.jp/index.html>
<https://www.agr.hokudai.ac.jp/r/lab/applied-molecular-entomology>
<https://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology>
<https://sites.google.com/view/igblab-ut-aba/top>
<https://web.tuat.ac.jp/~kaiko>
<https://sites.google.com/go/tuat.ac.jp/nakazawa-lab/home>
<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~yousan>
<https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles>
<http://www.bio.kit.ac.jp>
<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/kasan/insect/top.html>
<https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/igs>
<http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
<https://www.tec-lab.pref.gunma.jp/textile>
<http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
<http://www.tc-kyoto.or.jp>
<http://krf-textile.com>

【学 会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<https://jsws-yasan.com>

【博物館等】

(一財) シルクセンター-国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館
駒ヶ根シルクミュージアム
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)
はたや記念館ゆめおーれ勝山

<https://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>
<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/silkhakubutsukan>
<https://www.tuat-museum.org>
<https://komagane-silk.com/>
<https://silkfact.jp>
<https://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>

【博物館等】

美馬蚕糸館

<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

野外博物館 北海道開拓の村

<https://www.kaitaku.or.jp>

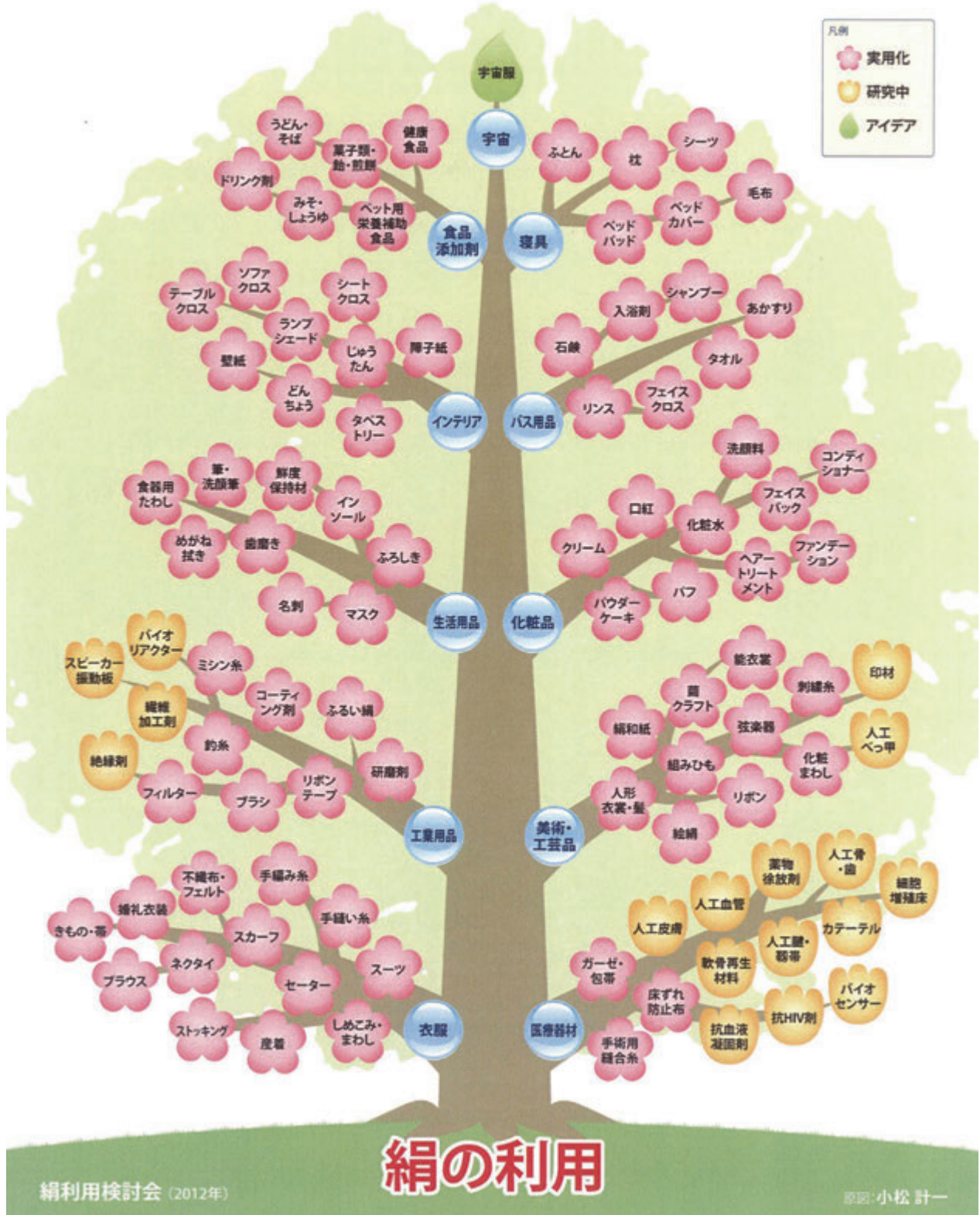
富岡製糸場

<https://www.tomioka-silk.jp/tomioka-silk-mill/>

群馬県立世界遺産センター

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

絹利用の系統樹



統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	46
(2) 養蚕農家数の推移	47
(3) 繭生産数量の推移	48
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	49
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	50
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	51
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	
(11) 製糸工場の原料繭需給	52
(12) 製糸工場の操業状況	53
(13) 生糸在庫数量の内訳	54
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	
(15) 生糸の原産国別輸入数量	55
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	56
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	57
(18) 絹織物生産数量	58
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	59

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	61
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	62

一 資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 Item 暦年 Calendar Year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2005	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2010	756	265	351	0.9	7	49	35.9	3,611
2011	627	220	351	0.7	7	52	34.7	3,152
2012	571	202	354	0.5	7	35	33.3	2,912
2013	486	168	346	0.4	9	35	32.0	2,940
2014	393	149	379	0.4	9	35	—	2,734
2015	368	135	367	0.4	8	30	—	2,316
2016	349	130	372	0.3	8	26	—	2,243
2017	336	125	372	0.3	8	28	—	2,195
2018	293	110	375	0.3	8	46	—	2,113
2019	264	92	348	0.3	8	36	—	1,939
2020	228	80	351	0.2	8	31	—	1,214
2021	186	61	328	0.2	7	20	—	1,319
2022	163	51	313	0.2	7	22	—	1,444
2023	146	45	308	0.2	7	33	—	1,242
2024	134	38	284	0.1	7	31	—	1,110
前年比(%) 2024/2023	91.8	84.4	92.0	50.0	100.0	93.9	—	89.4

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(一財)大日本蚕糸会調査、2011年以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は(一財)大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は(一社)日本絹人織機物工業会調査である。

(注) 2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009) The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit：number)

項 目 年 間 春 蚕 初秋蚕 晩秋蚕 暦 年 Item Annual total Spring silk-worm Early autumn silk-worm Late autumn silk-worm				
2000	3,280	2,970	2,170	2,700
2005	1,591	1,420	1,061	1,345
2010	756	650	494	637
2011	627	562	358	531
2012	571	514	319	462
2013	486	422	260	399
2014	393	359	230	328
2015	368	323	221	313
2016	349	310	209	310
2017	336	307	201	280
2018	293	254	179	262
2019	264	233	153	224
2020	228	205	129	188
2021	186	161	98	156
2022	163	146	89	142
2023	146	126	78	130
2024	134	122	74	113
前年比(%)				
2024/2023	91.8	96.8	94.9	86.9

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

項 目 Item 暦 年 Calendar Year	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
	t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000	1,244	500	320	424	379	169	148	157
2005	626	243	165	218	396	171	156	162
2010	265	107	60	98	351	165	121	154
2011	220	95	49	76	351	169	136	143
2012	202	79	50	73	354	155	156	159
2013	168	61	41	67	346	145	158	168
2014	149	55	36	58	379	153	157	176
2015	135	49	32	54	368	151	147	174
2016	130	47	32	50	372	153	155	162
2017	125	47	29	49	372	153	144	175
2018	110	41	24	46	375	161	134	176
2019	92	35	22	35	348	150	144	156
2020	80	31	19	30	351	151	147	160
2021	61	22	15	24	328	137	153	154
2022	51	20	13	18	313	137	146	127
2023	45	17	11	17	308	135	141	131
2024	38	16	10	13	284	131	135	115
前年比 (%) 2024/2023	86.1	94.5	88.9	76.3	92.2	97.0	95.7	87.8
2024年 構成比 (%)	100.0	40.6	25.6	33.8				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2015	378	6,479	—	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	—	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	—	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,635
2021	160	3,067	—	3,425	868	6,136	144	2,753	3,850
2022	168	3,646	1	3,754	927	7,945	182	2,803	3,726
2023	154	2,936	—	3,158	859	7,495	137	2,515	3,213
2024	131	2,763	—	2,882	871	6,251	177	2,221	3,005
2023 - 1	13	271	—	345	866	650	10	209	182
2	10	179	—	270	785	309	10	118	285
3	14	295	—	272	822	705	15	221	316
4	17	—	—	142	697	514	9	222	292
5	14	460	—	504	667	742	2	221	289
6	15	221	—	126	777	791	12	205	291
7	11	218	—	280	726	578	23	230	258
8	11	354	—	290	801	742	6	227	251
9	10	198	—	221	788	681	14	216	257
10	11	218	—	193	824	599	20	224	265
11	12	364	—	382	818	658	10	214	255
12	16	157	—	132	859	526	6	208	272
2024 - 1	11	234	—	223	881	492	6	262	203
2	13	290	—	263	921	438	12	139	241
3	10	335	—	343	923	352	20	143	284
4	8	—	—	22	909	557	13	220	262
5	11	366	—	426	860	545	4	212	322
6	10	196	—	177	889	351	25	213	247
7	15	352	—	512	744	746	7	225	249
8	12	170	—	121	805	507	26	164	210
9	14	226	—	226	819	516	3	213	245
10	8	158	—	82	903	488	31	184	253
11	10	284	—	290	907	702	18	183	251
12	9	151	—	196	871	557	14	147	237
2025 - 1	13	206	—	276	814	513	20	205	161
2	10	110	—	120	814	564	12	135	247
3	13	334	—	318	843	387	12	165	245
4	12	—	—	10	845	547	10	165	251
5	6	279	—	377	753	680	7	220	251
6	9	197	—	26	933	448	8	135	245
7	14	207	—	136	1,018	500	9	208	259

資料：(A) (C) (D) 中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量 + (A) + (B)} - {(C) + (E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているので、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：(A) (C) (D) (E) Central Raw Silk Association（2012.12～2018.10）. The Dainippon Silk Foundation（2018.11～）

(B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移
Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk					
		計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year							
2015		378	0	146	86	36	110
2016		317	0	98	103	38	78
2017		339	0	107	95	53	84
2018		339	0	106	104	65	63
2019		269	1	102	46	30	90
2020		203	1	51	76	4	71
2021		160	0	39	52	10	59
2022		168	0	38	50	12	68
2023		154	0	43	36	18	57
2024		131	0	40	35	4	52
2023 -	1	13	—	3	3	2	5
	2	10	—	0	4	4	2
	3	14	—	2	5	4	3
	4	17	—	3	2	2	10
	5	14	—	5	4	1	4
	6	15	—	5	3	0	7
	7	11	—	6	2	0	3
	8	11	—	3	5	0	3
	9	10	—	5	1	2	2
	10	11	—	5	2	0	4
	11	12	—	5	3	0	4
	12	16	—	1	2	1	12
2024 -	1	11	—	5	2	1	3
	2	13	—	3	3	2	5
	3	10	—	2	4	0	4
	4	8	—	2	2	0	4
	5	11	—	1	1	0	9
	6	10	—	4	1	1	4
	7	15	—	6	5	0	4
	8	12	—	5	4	0	3
	9	14	—	5	6	0	3
	10	8	—	3	2	0	3
	11	10	—	2	2	0	6
	12	9	—	2	3	0	4
2025 -	1	13	—	5	2	1	5
	2	10	—	6	0	0	4
	3	13	—	5	3	1	4
	4	12	—	3	4	0	5
	5	6	—	3	0	1	2
	6	9	—	2	3	0	4
	7	14	—	5	3	0	6

資料：中央蚕糸協会 (2010. 4～2018. 10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018. 11～)

備考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：Central Raw Silk Association (2010. 4～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks：Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)
(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import						輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second		計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second			
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
2021	175	45	0	130	3	6	6	115	130	24	0	0	8	16	106	45
2022	173	45	0	128	4	8	6	110	128	22	0	0	8	14	106	45
2023	166	45	0	121	3	7	6	105	121	20	0	0	7	13	101	45
2024	158	45	0	113	3	6	5	99	113	11	0	0	7	4	102	45
前年比 (%) 2024/ 2023	95	100	—	93	100	86	83	94	93	55	—	—	100	31	101	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills (単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2021		55	57	67
2022		46	59	54
2023		43	50	37
2024		39	46	27
2023 -	1	0	4	49
	2	0	4	44
	3	2	5	41
	4	0	5	37
	5	0	4	33
	6	9	5	34
	7	10	4	40
	8	3	3	40
	9	1	3	38
	10	9	4	43
	11	3	4	42
	12	1	6	38
2024 -	1	1	4	35
	2	0	4	31
	3	0	4	27
	4	0	3	24
	5	3	3	24
	6	8	4	25
	7	10	6	29
	8	3	4	27
	9	1	5	23
	10	13	3	33
	11	0	4	29
	12	1	3	27
2025 -	1	1	5	23
	2	1	4	20
	3	1	5	16
	4	1	5	12
	5	1	2	11
	6	8	4	15
	7	10	5	20

資料：中央蚕糸協会 (2012.12～2018.10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018.11～)

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況
Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運 転 工 場 数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操 業 日 数 Days Operated	従 業 者 数 Number of Workers
			運 転 可 能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2015	8	110	33	30	263	53
	2016	8	110	29	26	267	55
	2017	8	110	31	28	266	59
	2018	8	74	34	46	253	57
	2019	8	74	27	36	239	51
	2020	8	74	23	31	218	48
	2021	7	74	15	20	214	43
	2022	7	64	14	22	230	41
	2023	7	44	15	34	235	41
	2024	7	44	13	31	265	34
2023 -	1	7	44	15	34	16	42
	2	7	44	16	36	17	40
	3	7	44	17	39	21	42
	4	7	44	15	34	21	34
	5	7	44	15	34	21	34
	6	7	44	17	39	21	44
	7	7	44	15	34	22	44
	8	7	44	12	27	16	41
	9	7	44	12	27	19	41
	10	7	44	13	30	22	41
	11	7	44	16	36	20	41
	12	7	44	13	30	19	41
2024 -	1	7	44	14	32	17	41
	2	7	44	13	30	20	41
	3	7	44	13	30	19	41
	4	7	44	9	20	20	40
	5	7	44	12	32	19	40
	6	7	44	15	34	21	43
	7	7	44	17	39	22	43
	8	7	42	18	43	17	20
	9	7	42	12	29	31	20
	10	7	42	13	31	30	20
	11	7	42	10	24	29	20
	12	7	42	13	31	20	38
2025 -	1	7	42	17	40	20	38
	2	7	42	16	38	18	40
	3	7	42	18	43	16	41
	4	7	42	21	20	19	41
	5	7	42	8	19	16	41
	6	7	42	14	33	19	41
	7	7	42	13	30	22	42

資料：中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸流通業者 silk distributor
2015		1,410	94	1,316
2016		1,406	130	1,276
2017		1,747	156	1,591
2018		1,330	230	1,100
2019		1,429	238	1,191
2020		1,066	178	888
2021		868	170	698
2022		927	127	800
2023		859	144	715
2024		871	128	743
2023 -	1	866	129	737
	2	785	125	660
	3	822	131	691
	4	737	138	599
	5	667	138	529
	6	777	143	634
	7	726	142	584
	8	801	139	662
	9	788	135	653
	10	824	137	687
	11	818	140	678
	12	859	144	715
2024 -	1	881	138	743
	2	921	138	783
	3	923	138	785
	4	909	133	776
	5	860	133	727
	6	889	136	753
	7	744	138	606
	8	805	137	668
	9	819	137	682
	10	903	130	773
	11	907	130	777
	12	871	128	743
2025 -	1	814	128	686
	2	814	127	687
	3	843	121	722
	4	845	122	723
	5	753	118	635
	6	933	254	679
	7	1,018	332	686

資料 : 中央蚕糸協会 (2012. 12~2018. 10) (一財) 大日本蚕糸会 (2018. 11~)

Source : Central Raw Silk Association (2012. 12~2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11~)

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国 名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,294 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2021	3,067 (31)	1,852 (25)	1,182 (5)	—	—	—
2022	3,646 (45)	2,402 (44)	1,222	—	22 (1)	—
2023	2,936 (52)	1,880 (52)	986	50	19	—
2024	2,763 (74)	1,912 (74)	844	—	7	—
2023 - 1	271 (10)	117 (10)	154	—	—	—
2	179	111	68	—	—	—
3	295 (5)	253 (5)	40	—	1	—
4	—	—	—	—	—	—
5	460	231	229	—	1	—
6	221	170	—	50	1	—
7	218	120	87	—	10	—
8	354 (10)	264 (10)	87	—	3	—
9	198 (10)	132 (10)	66	—	—	—
10	218 (5)	163 (5)	55	—	—	—
11	364 (11)	253 (11)	111	—	—	—
12	157	65	89	—	3	—
2024 - 1	234 (2)	234 (2)	—	—	—	—
2	290 (14)	130 (14)	161	—	—	—
3	335	325	10	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	366	250	116	—	—	—
6	196 (12)	103 (12)	93	—	—	—
7	352 (9)	211 (9)	140	—	—	—
8	170 (11)	75 (11)	95	—	—	—
9	226	220	—	—	6	—
10	158 (2)	75 (2)	84	—	—	—
11	284 (13)	233 (13)	50	—	1	—
12	151 (10)	55 (10)	95	—	—	—
2025 - 1	206 (5)	163 (5)	43	—	—	—
2	110	54	56	—	—	—
3	334 (11)	315 (11)	15	—	4	—
4	—	—	—	—	—	—
5	279	242	37	—	—	—
6	198 (2)	167 (2)	30	—	—	—
7	207 (9)	141 (7)	55	—	10 (2)	—

資 料 : 財務省関税局

備考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量

Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
年 月 Year & Month							
暦 年 Calendar Year							
2015	14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016	12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017	14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018	11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019	10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020	6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2021	6,136	3,472	2,217	2	0	442	3
2022	7,945	4,670	2,665	2	0	608	0
2023	7,495	4,309	2,572	3	—	610	1
2024	6,251	3,541	2,397	3	0	308	1
2023 - 1	650	364	185	—	—	101	—
2	309	238	15	—	—	55	—
3	705	537	143	—	—	25	—
4	514	271	233	—	—	10	—
5	742	371	217	1	—	154	—
6	791	596	195	0	—	—	—
7	578	290	238	—	—	51	—
8	742	395	296	—	—	50	0
9	681	384	239	0	—	58	—
10	599	346	226	1	—	25	0
11	658	284	325	1	—	48	—
12	526	233	260	—	—	33	0
2024 - 1	492	336	156	—	0	—	0
2	438	208	178	—	—	52	—
3	352	223	129	—	0	—	0
4	557	308	230	—	—	19	—
5	545	263	265	0	—	17	0
6	351	159	168	2	0	21	—
7	746	418	255	0	—	73	—
8	507	279	202	—	—	25	—
9	516	319	196	0	—	—	—
10	488	270	198	—	—	20	—
11	702	488	199	—	—	15	—
12	557	269	221	0	—	66	—
2025 - 1	513	353	129	1	—	30	—
2	564	204	272	—	0	88	—
3	387	273	114	0	—	—	—
4	547	280	247	—	—	20	—
5	680	351	306	—	—	24	—
6	448	268	140	0	—	40	—
7	500	219	227	—	—	55	—

資料：財務省関税局

備考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵、円/kg

Unit: bale of 60kg, yen/kg

項目 Item 年 月 Year & Month	輸入生糸（通関ベース）				輸入絹糸（通関ベース）					
	Raw Silk Imprt				Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦 年 Calendar Year										
2015	5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016	5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017	5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018	3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019	3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020	1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2021	1,852	7,096	1,183	6,390	3,472	7,177	442	7,154	2,217	6,676
2022	2,358	8,878	1,222	9,124	4,670	9,496	608	10,387	2,665	9,557
2023	1,828	9,499	986	10,302	4,309	9,874	610	11,679	2,572	9,946
2024	1,838	10,638	844	12,045	3,541	11,286	308	13,976	2,397	11,209
2023 - 1	107	8,577	154	9,724	364	9,238	101	10,705	185	9,185
2	111	9,322	68	9,899	238	9,001	55	11,256	15	11,271
3	248	9,059	40	9,667	537	9,450	25	11,647	143	9,058
4	—	—	—	—	271	9,490	10	11,069	233	9,072
5	231	9,266	229	9,864	371	9,510	154	11,338	217	9,411
6	170	9,259	—	—	596	9,872	—	—	195	10,033
7	120	9,362	87	10,617	290	10,258	51	12,109	238	10,330
8	254	9,413	87	10,314	395	10,133	50	11,964	296	9,986
9	122	10,059	66	10,956	384	10,128	58	12,519	239	10,370
10	158	10,118	55	10,388	346	10,522	25	12,029	226	9,878
11	242	10,088	111	11,326	284	10,528	48	12,767	325	10,411
12	65	10,296	89	10,893	233	10,672	33	12,782	260	10,753
2024 - 1	232	10,147	—	—	336	10,230	—	—	156	10,613
2	116	10,188	161	11,358	208	10,671	52	12,711	178	10,685
3	325	10,407	10	12,133	223	11,036	—	—	129	11,494
4	—	—	—	—	308	11,413	19	13,902	230	11,041
5	250	11,006	116	12,258	263	11,527	17	14,251	265	11,560
6	91	11,019	93	12,417	159	11,399	21	14,281	168	11,314
7	202	11,146	140	12,747	418	12,120	73	14,673	255	11,592
8	64	10,573	95	12,241	279	11,171	25	14,162	202	11,411
9	220	10,228	6	12,136	319	10,796	—	—	196	10,905
10	73	10,420	84	11,460	270	11,019	20	12,854	198	10,841
11	220	11,147	50	11,648	488	11,741	15	14,054	199	11,178
12	45	10,859	95	12,068	269	11,688	66	14,308	221	11,554
2025 - 1	158	11,287	43	12,428	353	12,138	30	14,260	129	11,970
2	54	11,040	56	12,466	204	11,786	88	14,139	272	11,779
3	304	10,707	15	10,857	273	11,152	—	—	114	11,028
4	—	—	—	—	280	11,267	2	13,767	247	11,221
5	242	10,155	37	10,326	351	10,429	24	13,490	306	10,683
6	165	10,181	30	11,960	268	10,606	40	13,387	140	9,451
7	134	10,454	55	11,964	219	10,783	55	13,469	227	10,725

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F 価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month 暦 年 Calendar Year	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2020	1,214	697	460	15	222	364	169	195	153
2021	1,319	840	587	9	244	336	128	208	143
2022	1,444	1,016	716	0	300	280	72	208	148
2023	1,242	817	548	0	269	288	82	206	136
2024	1,110	675	445	0	230	323	126	197	112
2023 - 1	106	75	52	0	23	23	7	16	8
2	99	65	45	0	20	23	6	17	12
3	104	63	48	0	15	25	7	18	16
4	112	73	54	0	19	25	7	18	14
5	113	77	48	0	29	24	7	17	12
6	110	72	47	0	25	25	7	18	12
7	100	63	45	0	18	25	8	17	11
8	101	68	44	0	24	23	7	16	10
9	93	59	41	0	18	23	6	17	10
10	102	68	42	0	26	25	7	18	9
11	107	73	42	0	31	24	7	17	10
12	95	61	40	0	21	23	7	16	10
2024 - 1	94	58	44	0	14	26	10	16	9
2	96	56	40	0	16	27	11	16	12
3	93	56	44	0	12	28	11	17	10
4	93	54	42	0	12	29	12	17	10
5	103	66	36	0	30	28	11	17	9
6	92	54	34	0	20	28	11	17	9
7	95	52	35	0	17	29	12	17	13
8	71	40	30	0	10	23	8	15	7
9	84	46	32	0	14	28	11	17	10
10	95	61	36	0	25	28	11	17	7
11	101	68	36	0	32	25	9	16	7
12	94	61	35	0	26	24	9	15	8
2025 - 1	88	57	43	0	14	23	8	15	7
2	81	45	34	0	11	26	10	16	10
3	90	56	45	0	11	24	10	14	9
4	86	51	32	0	19	26	10	16	9
5	95	62	40	0	22	25	10	15	8
6	86	51	30	0	21	25	10	15	10
7	84	52	41	0	11	24	9	15	8

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：1. 絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

2. 2024年分までデータ補正がある。

Source：Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks：1. Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

2. Data are corrected until 2024.

(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量
Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020	1,214	62.6	154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2021	1,319	108.6	153,627	99.5	12,321	113.5	303,511	116.6
2022	1,444	109.5	158,982	103.5	11,988	97.3	281,796	94.4
2023	1,242	86.0	147,196	92.6	11,657	97.2	254,378	90.4
2024	1,110	89.4	132,320	89.9	9,976	85.6	206,760	81.3
2023 - 1	106	102.1	9,451	90.9	1,011	102.8	24,615	110.5
2	99	80.0	12,892	101.1	836	85.1	19,786	93.6
3	104	83.6	11,963	96.7	901	104.4	24,475	97.5
4	112	88.8	13,330	89.2	878	79.0	23,422	89.2
5	113	91.9	11,894	106.1	1,197	106.2	22,043	100.1
6	110	75.9	13,523	92.3	952	77.0	23,807	89.1
7	100	82.4	13,194	90.7	1,121	112.6	18,686	83.9
8	101	90.4	8,952	75.0	855	91.1	16,250	76.8
9	93	89.2	14,213	101.6	684	80.9	20,410	81.2
10	102	86.5	12,354	82.7	989	89.2	19,502	83.2
11	107	88.1	12,399	90.3	1,030	107.2	20,270	83.5
12	95	78.5	13,030	96.4	1,203	144.1	19,688	90.7
2024 - 1	94	88.3	8,032	85.0	885	87.5	14,648	61.1
2	96	96.8	13,377	103.8	1,043	124.8	17,070	86.2
3	93	89.4	11,675	97.6	999	110.9	18,682	73.4
4	93	83.0	12,093	90.7	997	113.6	20,584	86.9
5	103	91.2	10,096	84.9	722	60.3	21,751	99.9
6	92	83.6	13,031	96.4	702	73.7	16,369	68.4
7	95	95.0	10,794	81.8	876	78.1	15,860	84.9
8	71	70.3	8,492	94.9	546	63.9	13,324	82.0
9	84	90.3	12,063	84.9	921	134.6	17,628	90.6
10	95	93.1	9,186	74.4	921	93.1	17,386	86.1
11	101	94.4	12,377	99.8	684	66.4	18,223	84.8
12	94	98.9	11,104	85.2	680	56.5	15,253	77.5
2025 - 1	88	93.6	6,913	86.1	680	76.8	14,152	96.9
2	81	84.4	11,714	87.6	702	67.3	13,393	79.5
3	90	96.8	8,227	70.5	878	87.9	15,781	84.3
4	86	92.5	9,550	79.0	718	72.0	18,671	88.7
5	95	92.2	8,975	88.9	522	72.3	21,545	101.1
6	86	93.5	10,252	78.7	768	109.4	17,460	104.7
7	84	88.4	9,400	87.1	647	73.9	16,341	103.0
8			7,040	82.9	503	92.1		

資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

備考 : 1. 西陣は京都府織布生産動態調査数値の修正により前年比が合わない場合がある。

2. 絹織物生産数量の数値は2024年分までデータ補正がある。

Source : Japan Silk &Rayon Weaver' s Association(～2020.6).

Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by sheir local unions.

Remarks : 1.Ratio to previous year in Nishijin may become incorrect if there is a correction in the statistical survey on the production dynamics of woven fabrics in Kyoto prefecture.

2. The figures of silk fabric production quantity are corrected until 2024.

蚕の一生



協力:シルク博物館

一般財団法人 大日本蚕糸会

— 資料・海外 —

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2018年	2019年	2020年
		トン	トン	トン
日本	Japan	110	92	80
中国	China	352,942	201,572	156,690
インド	India	185,560	185,143	169,345
ウズベキスタン	Uzbekistan	17,912	21,374	20,942
イラン	Iran	589	1,407	1,756
タイ	Thailand	4,858	5,011	3,715
ブラジル	Brazil	3,055	3,047	2,742
ベトナム	Vietnam	8,145	11,855	14,937
北朝鮮	North Korea	2,500	2,643	2,643
トルコ	Turkey	94	90	90
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	18	18	18
シリア	Syria	-	1	1
主要国の計	Total	575,783	432,253	372,959

区 分		2021年	2022年	2023年
		トン	トン	トン
日本	Japan	61	51	45
中国	China	136,964	146,560	146,867
インド	India	187,241	199,752	215,642
ウズベキスタン	Uzbekistan	22,770	24,300	25,886
イラン	Iran	1,653	1,798	1,840
タイ	Thailand	3,593	3,107	3,095
ブラジル	Brazil	2,211	1,807	1,715
ベトナム	Vietnam	16,444	16,824	17,727
北朝鮮	North Korea	2,643	2,643	1,919
トルコ	Turkey	76	69	78
ブルガリア	Bulgaria	-	-	-
インドネシア	Indonesia	21	21	17
シリア	Syria	2	1	1
主要国の計	Total	373,679	396,933	414,832

注1 日本は(一財)大日本蚕糸会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)の統計値をそれぞれ使用、
それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Dainippon Silk Foundation.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格

Spot Price of Various Silk Goods

2025年5月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	132.00 ~ 161.00	2,640 ~ 3,220
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	157.75 ~ 180.00	3,155 ~ 3,600
3	玉繭(double cocoon)		98.30 ~ 125.50	1,966 ~ 2,510
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	110.75 ~ 154.50	2,215 ~ 3,090
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	458.00 ~ 520.50	9,160 ~ 10,410
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	463.25 ~ 528.50	9,265 ~ 10,570
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	454.75 ~ 488.25	9,095 ~ 9,765
8	玉糸(doupion silk)	110d	451.50 ~ 467.50	9,030 ~ 9,350
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.58 ~ 46.38	812 ~ 928
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.38 ~ 72.25	1,248 ~ 1,445
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.23 ~ 57.50	1,045 ~ 1,150
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.65 ~ 50.88	913 ~ 1,018

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

2025年6月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	138.00 ~ 162.00	2,760 ~ 3,240
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	165.25 ~ 191.88	3,305 ~ 3,838
3	玉繭(double cocoon)		99.03 ~ 126.75	1,981 ~ 2,535
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	114.75 ~ 155.25	2,295 ~ 3,105
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	463.25 ~ 520.25	9,265 ~ 10,405
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	466.75 ~ 527.50	9,335 ~ 10,550
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	459.00 ~ 491.75	9,180 ~ 9,835
8	玉糸(doupion silk)	110d	453.00 ~ 469.00	9,060 ~ 9,380
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.70 ~ 46.50	814 ~ 930
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	63.13 ~ 72.75	1,263 ~ 1,455
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.38 ~ 57.88	1,048 ~ 1,158
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	46.13 ~ 51.38	923 ~ 1,028

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

資料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

2025年7月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	139.00 ~ 162.33	2,780 ~ 3,247
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	166.33 ~ 199.33	3,327 ~ 3,987
3	玉繭(double cocoon)		97.50 ~ 124.67	1,950 ~ 2,493
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	116.67 ~ 155.50	2,333 ~ 3,110
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	462.00 ~ 518.33	9,240 ~ 10,367
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	465.67 ~ 526.00	9,313 ~ 10,520
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	457.00 ~ 491.33	9,140 ~ 9,827
8	玉糸(doupion silk)	110d	452.33 ~ 469.00	9,047 ~ 9,380
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.70 ~ 46.50	814 ~ 930
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.00 ~ 72.00	1,240 ~ 1,440
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.00 ~ 57.50	1,040 ~ 1,150
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.00 ~ 51.00	900 ~ 1,020

注:1元=20円

1 CNY=20JPY

2025年8月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	139.00 ~ 161.50	2,919 ~ 3,392
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	164.50 ~ 199.00	3,455 ~ 4,179
3	玉繭(double cocoon)		97.00 ~ 124.00	2,037 ~ 2,604
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	115.38 ~ 154.75	2,423 ~ 3,250
5	生糸(raw silk)	21d、国内販売	460.25 ~ 516.50	9,665 ~ 10,847
6	生糸(raw silk)	21d、輸出販売	464.25 ~ 525.00	9,749 ~ 11,025
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	454.75 ~ 487.75	9,550 ~ 10,243
8	玉糸(doupion silk)	110d	443.00 ~ 460.25	9,303 ~ 9,665
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.70 ~ 46.50	855 ~ 977
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	62.00 ~ 72.00	1,302 ~ 1,512
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	52.00 ~ 57.50	1,092 ~ 1,208
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	45.00 ~ 51.00	945 ~ 1,071

注:1元=21円

1 CNY=21JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<https://silk.or.jp>

シルクレポート 2025 年 10 月号 No.87 令和 7 年 10 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3415

URL : <https://silk.or.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず